

紅 迷

清の時代、『紅樓夢』という人情小説が大流行した。この小説に魅せられ、妄想がすぎて自律神経失調症になる者後をたたく、彼らは「紅迷」と呼ばれた。「紅迷」は清の時代の『紅樓夢』中毒ばかりとは限らない。「丈」と言えば矢吹丈ではなく東丈を連想し、「赤鬼」と言えばマニエルではなくルスカを想起する私などは、幻魔大戦とプロレスの「紅迷」初期症状にあるのかも知れない。(幻魔大戦とは、平井和正のSF小説で、『幻魔大戦』『新・幻魔大戦』『真幻魔大戦』の3部作からなり、東丈はその主人公である。)

考えるに、私たちには、「せざるを為ない行為」があるようだ。例えば、晩飯を食いすぎたからゴロ寝で腹ごなしをしようと思っているとき、札をつくさなければならないビール好きの客人がくればどうするか。恐らく、ビールの1本くらいは「つきあわざるを得ない」と覚悟するだろう。このように、「せざるを得ない行為」はウンザリするものであり、1日24時間が「せざるを得ない行為」の連続であるなら、私たちは確実に脳波障害をきたすはずだ。しかし、幸いなことに、札をつくすべき客人は毎晩くるものでもない。ゴロ寝をしてもよいときは、充分ゴロ寝をしておくべきである。

ところで、ゴロ寝は心地よいため、その心地よさを覚えると、腹がこなれていてもゴロ寝がしたくなる。幻魔大戦を読む、あるいはプロレスを見る契機は、私にとって腹ごなしのゴロ寝であったに違いない。しかし、ゴロ寝にしても横になれば心地よいわけではなく、座布団を枕がわりにしたり、たまには寝返りもすべきなのだ。同様に、幻魔大戦やプロレスにもアプローチのための想念が必要であり、ただぼんやり眺めていればよいわけではない。その想念が高じてくると、スルメのように味がでたり、カップエビセンのように後をひき、心地よく「紅迷」になっていくのかも知れない。

まず、幻魔大戦から。幻魔大戦では、幻魔という宇宙の根源悪と地球の超能力者群との戦いが、教養小説風に描かれている。話そのものも面白い(面白いというのは最大の美德なのだ)が、ただ面白いというだけでなく、この小説は壮大な神話をベースにしているのだ。『ヨハネの黙示録』

に、光と闇の最終決戦(ハルマゲドンと言う)において、天使ミカエルが救世主として地上にあらわれ、悪魔サタンを打破するという教義がある。幻魔大戦は、このハルマゲドンをなぞらえており、天使ミカエル＝超能力者、悪魔サタン＝幻魔という図式がなりたつ。言わば、「古い皮袋に新しい酒」を入れているわけだが、私の想念はここから出発する。つまり、聖書に描かれている世界が、幻魔大戦のなかでどのようなストーリーとして展開されていくのか、平井和正の筆さばきを拝見してやろうじゃないかということである。現在、幻魔大戦は月刊誌に連載中であるが、発売と同時に読みふける私には、幻魔世界とも言うべき妄想がその度に広がっていく。

プロレスについては、これほどダークな印象をもたれているものないだろう。曰く——「ショー」。しかし、円錐が角度によっては三角にみえ、角度によっては円にもみえることは、円錐の特徴であって本質ではないように、それはどうでもよいことだ。プロレスは「見」るものである。レスラーは技をかけ技がかけられるプロセスを「見」せ、私たち観客は技をかけ技がかけられるプロセスを「見」る。それはきわめて劇的であり、そこには調和の美学というものが存在するのだ。そして、私の想念は、勝負を終えた勝者の姿、敗者の姿を「見」ることに集約していく。8月の蔵前で、猪木がスーパースターを久々のジャーマン・スープレックスで破ったとき、虚ろさのまじった彼の勝利の雄叫びは、その試合のすべてを物語っていた。金曜日午後8時のプロレス中継時にビデオをセットし、家族が寝静まった頃、暗闇のなかでビデオの再観戦をしている私の顔は、さだめし純真な童子のようであろう。

幻魔大戦とプロレスは、私のなかでヘーゲル的に止揚され、それはあたかも時間をずらして美女2人とデートを楽しむかのようなものである。だが、私がこれほど溺愛している幻魔大戦とプロレスに、私の奥さんは全く興味を示さない。そればかりでなく、クズ籠にすてるゴミをみるような目で私を……。所詮、それは個人差というべきか。

(大庸人)

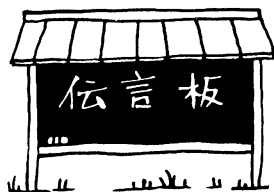
【新着資料案内】

の資料は、昭和56年7月中に行政資料室に到着した主なものです。ご利用下さい。
行政資料室 本庁舎地下1階 TEL 0292-21-8111(内線426)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央官公庁関係		昭和56年度 中小企業資金融資制度要項集	経営助成課
青少年問題に関する文献集 第11巻	総 理 府	昭和56年度 労政行政執行方針	労 政 課
昭和55年 消費者物価指数年報	〃	昭 和 56 年 卸売市場経理合理化に関する資料	流通園芸課
昭和55年版 統計情報総索引	〃	昭 和 56 年 茨城県地域食品認証制度事業関係資料	〃
国際統計資料目録(その4)	行政管理局	昭 和 56 年 卸売市場に関する資料	〃
海外統計書総覧(第3集)	〃	昭 和 55 年 地方卸売市場年報	〃
第十改正日本薬局方	厚生省	昭 和 56 年 3 月 茨城の青果物加工の実態	〃
昭和54年 漁業労働賃金調査報告	農 林 水 産 省	昭 和 56 年 3 月 京浜地域市場の概要と本県青果物の出荷状況	東京農産流通指導センター
昭和54年 漁業経済調査報告(企業体の部)	〃	県北農業振興対策事業実績書	改良普及課
昭和55年 農林漁業現地情報	〃	昭 和 56 年 計画転作, 団地転作推進資料	〃
昭和54年 農家就業動向調査農家子弟の新規学卒者の動向	〃	昭 和 56 年 農村婦人の組織活動	〃
昭和54年 肥育豚生産費からみた茨城の養豚	関 東 農 政 局	地域農業組織化総合指導資料	〃
昭和54年 専門的な農家の現状	〃	昭 和 56 年 生活環境改善指導資料	〃
昭和54年 商業統計表第2巻 産業編	通 商 産 業 省	昭 和 56 年 版 茨 城 の 蚕 糸 業	蚕 糸 課
昭和55年版 災害統計	建 設 省	昭 和 56 年 木材需給の現状と見通し	林 政 課
昭和55年 全国都道府市区町村面積調	〃	昭 和 56 年 松くい虫 一生態と防除一	林 業 課
昭和55年版 海岸統計	〃	昭 和 54 年 度 さげます資源増大対策調査報告書	漁 政 課
茨城県関係		昭 和 56 年 霞ヶ浦用水のあゆみ	水 利 課
環境影響評価の手引き(第1集)	環 境 管 理 課	昭 和 56 年 度 茨 城 県 水 防 計 画	河 川 課
昭和55年 古河, 総和地域公害防止計画実績報告書	公 害 対 策 課	昭 和 56 年 都市計画の手引一都市施設編一	都 市 計 画 課
昭和56年度 市町村に関連する各部主要施策の概要	地 方 課	昭 和 56 年 凝固剤訴訟事件の記録(第5集)	下 水 道 課
昭和56年 土地開発公社関係資料集	〃	昭 和 56 年 企 業 局 の 概 要	企 業 局
昭和55年度 知事を囲むつどい	広 報 課	社 会 教 育 30 年 の 歩 み	教育庁社会教育課
昭和55年 県政グラフ茨城	〃	幼稚園教育研究指定校研究集録(第5集)	教育庁指導課
昭和56年度 保育所一覧表	婦 人 児 童 課	昭 和 56 年 度 学 校 教 育 指 導 方 針	〃
昭和55年 婦人問題に関する生涯教育	〃	昭 和 56 年 度 版 心 身 障 害 児 就 学 相 談 ・ 就 学 指 導 の 手 引	〃
昭和56年度 青少年育成関係概要	総 合 県 民 室	昭 和 55 年 度 芸 術 文 化 団 体 調 査 報 告 書	教育庁文化課
保健婦, 助産婦, 看護婦の現状	医 務 課	昭 和 55 年 少 年 非 行 白 書	警 察 本 部
昭和56年 茨城県工業開発基本方針	商 工 企 画 課	県 職 員 給 与 制 度 史 第 2 部	人 事 委 員 会
昭和56年 産炭地域振興実施促進調査	〃	県内市町村関係	
昭和56年 地場産業実態調査報告書	商 工 指 導 課	昭 和 55 年 勝 田 市 新 総 合 計 画 基 本 計 画	勝 田 市
昭和55年度 砕石資源調査報告書	〃	都道府県関係	
昭和56年 茨城県チェーン店実態調査報告書	〃	昭 和 54 年 岩 手 県 統 計 年 鑑	岩手県統計調査課

【新着資料案内】

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
昭和56年版 岩手県勢要覧	岩手県統計調査課	昭和56年 100の指標からみた鳥取県 (社会福祉指標)	鳥取県統計課
昭和55年度 栃木県の人口	栃木県統計課	昭和56年版 鳥取県政要覧	"
昭和53年度 県民所得推計報告書	"	昭和55年 学校基本調査学校保健統計調査結果報告書	島根県統計課
1980年 栃木県の農林業	"	昭和55年 島根県の移動人口	"
昭和56年 埼玉県経済の産業連関分析	埼玉県統計課	1980年 世界農林業センサス結果報告書	岡山県統計課
1980年 世界農林業センサス結果概要 — 総括編 —	千葉県統計課	昭和56年版 広島県勢要覧	広島県統計課
昭和56年版 富山県勢要覧	富山県情報統計課	昭和53年度 大分の市町村民所得	大分県統計課
昭和54年度 石川県民所得	石川県統計情報課	昭和56年 宮崎県の展望	宮崎県統計課
昭和56年版 石川100の指標	"	昭和55年版 沖縄県統計年鑑	沖縄県統計課
第27回 福井県統計年鑑	福井県統計課	県外市町村関係	
昭和56年 長野県の人口と世帯	長野県情報統計課	昭和55年版 川崎市統計書	川崎市統計課
昭和56年 大阪府市区町村の町丁字別世帯数及び人口	大阪府統計課	昭和54年度 市民所得統計年報	大阪市統計課
昭和54年 工業統計調査結果表	"	公社・会社・団体等関係	
商業統計小地域特性格集計 — 昭和54年商業統計調査特別集計 —	"	昭和56年 地場産業実態調査報告書	岡山県産業開発センター
大阪府の小売市場のすがた — 昭和54年商業統計調査特別集計 —	"	昭和56年 茨城県内大型店出店状況	茨城県商工会連合会
昭和55年 府民の家計	"	昭和56年 新筑西広域市町村圏計画 総論, 基本構想, 基本計画	筑西広域市町村圏事務組合
昭和54年 大阪府産業連関表 — 昭和53年延長表について —	"		



“社会生活基本調査”が 10月1日に行われます

社会生活基本調査は、生涯教育体制、公共施設設置計画、福祉政策、ボランティア活動の育成、高齢者・青少年対策等各種行政施策の基礎資料とすることを目的として、昭和51年に第1回調査が実施され、5年目に当たる本年10月1日現在で第2回目の調査が実施されます。

今回の調査では特に高齢者社会に対応して、生涯学習体制づくり、体力・健康づくり、ボランティア活動の活性化及び保養、レクリエーション施設の整備並びに医療サービスの充実等行政施策の基本となるデータを提供することを重点としています。

この調査は、全国の全世帯を代表するように抽出した世帯に居住する世帯員を調査対象としていますが、特に15歳以上の世帯員については、一日の生活時間の配分や学習活動、スポーツ、ボランティア活動、旅行、医療施設の利用等自由時間の実態を明らかにします。

9月下旬に、県知事から任命された調査員が、調査対象に選ばれた世帯をお訪ねして、調査票の記入をお願いしますので、よろしくご協力ください。

(担当・人口労働統計)